



# 2004

岡山県立精研高等学校  
学校紹介



F L I N T W E R F A R T E  
インターネット 花 福祉

ADDRESS 715-0019 岡山県井原市井原町 1875  
PHONE 学校 0866 (62) 0203 農場 0866 (62) 3574  
FAX 学校 0866 (62) 8254 農場 0866 (62) 3524  
URL <http://www.seiken.okayama-c.ed.jp>  
E-Mail [seiken@pref.okayama.jp](mailto:seiken@pref.okayama.jp)



# 岡山県立精研高等学校 Q & A

## ☆ 精研高校の募集定員は 何名ですか？



平成16年度の定員は次のとおりです。

園芸科学科	40名・・・1クラス
家政科	80名・・・2クラス

(平成16年4月現在)

## ☆ 精研高校には 学区がありますか？

精研高校は全県学区です。県内の中学校ならどの学校からでも出願できます。  
広島県の神辺東中学校と山野中学校からも出願できます。

## ☆ 推薦入学の制度は どのようなのですか？

推薦入試は2月上旬に行われます。  
平成17年度入試から、「自己推薦」方式となります。また、従来の県内中学校からだけでなく、広島県の神辺東中学校と山野中学校からも出願できるようになります。  
合格が内定した人は、必ず入学することとなっています。



## ☆ 精研高校の特色は 何ですか？

精研高校は専門高校です。農業に関する学科「園芸科学科」と家庭に関する学科「家政科」とがあります。両科とも特色ある類型を設け、個人の適性や進路希望によって自分の目標にあった学習ができます。

また、地域に根ざした学校として、時代の一步先を行く技術の習得をめざすとともに、体験的な学習や「物を作る」「命を育てる」という実習を通して、人間的な触れ合いを深めつつ、最後までやり通す粘り強さや責任感・協調性を身につけ、思いやりのある豊かな人間性をはぐくむことが、精研高校の教育の特色です。

## ☆ 園芸科学科では どんな学習をしますか？

1年生では「米作り」を通して農業に関する基礎的な内容と、環境および植物バイオテクノロジーの基礎について学習します。2年生からはフラワーコースとフード&フルーツコースに分かれます。フラワーコースでは、コショウランなどのラン類やペチュニア、パンジーなどのガーデニング用草花の増殖と生産およびそれらを活用したフラワーデザインについて、フード&フルーツコースでは、桃・ブドウの栽培、水耕栽培システムを使った高糖度トマトの栽培、グリーンツーリズムなどについて、より専門的に学習します。共通の科目として植物バイオテクノロジー・農業情報処理および農業機械があります。また、外部講師の先生によるフラワーアレンジメントや押し花、コンテナガーデンのデザインなど、専門の先生ならではの授業も豊富に企画しています。

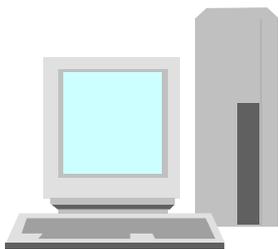


## ☆ 家政科では どんな学習をしますか？



普通教科と家庭に関する専門的な学習をします。  
1年生では、家庭科の基礎的な学習に重点を置き、2年生からはファッションデザイン・フードデザイン・福祉の3つの類型に分かれて専門的な学習を行います。  
さらに、それらの類型を専門コースと教養コースに分け、専門コースではより専門性を高め、実習を多くして技術の向上をめざします。教養コースは、進学のための学習に力を入れたカリキュラムになっています。

## ☆ コンピュータを使った学習には どんなものがありますか？



プロジェクタやスマートボードを備えた教室を複数設置しており、様々な機器とソフトウェアを活用して、文書作成・表計算・プレゼンテーション・ホームページ作成・インターネットの使い方や、情報倫理などを学習します。

## ☆ 在学中に取得できる資格には どのようなものがありますか？

- 危険物取扱者、ボイラー技士、大型特殊自動車運転免許、
- 小型車両系建設機械特別教育修了証、初級バイオ認定試験、
- 室内園芸装飾3級、情報処理活用能力検定3級
- 訪問介護員2級、難病基礎課程I、被服製作技術検定
- 食物調理技術検定、保育技術検定、ワープロ検定
- 文部科学省認定硬筆検定、漢字検定、英語検定、秘書検定、など

## ☆ 総合的な学習の時間は 何をするのですか？

精研高校では、総合的な学習の時間を「精研ふれあいタイム」と呼んでいます。平成15年度からは1年生と2年生で1単位ずつ学習しています。

「精研ふれあいタイム」では、自分の将来を見つめ、自らのあり方や生き方を考える時間を持ったり、希望する職種・企業での就業体験を通して、社会の変化に主体的に対応できる基礎的な能力やコミュニケーション能力を養います。

## ☆ 部活動等には どんなものがありますか？

運動部・・・男子新体操、男子サッカー、女子弓道、女子ソフトテニス、女子バレーボール、女子バドミントン、女子バスケットボール、女子ソフトボール同好会 など

文化部・・・文芸、写真、茶道、華道、美術、吹奏楽、情報処理、ガーデニング同好会、手話・点字同好会 など

## ☆ オートバイ通学は どんな場合に許可されますか？



許可条件は、通学距離が14km以上か高低差が250m以上の場合です。オートバイ通学は2年生から許可されます。

## ☆ 精研高校では アルバイトができるのですか？

精研高校では、アルバイトは原則として禁止しています。

ただし、経済的理由などで保護者より申し出があれば、届け出により許可できる場合があります。

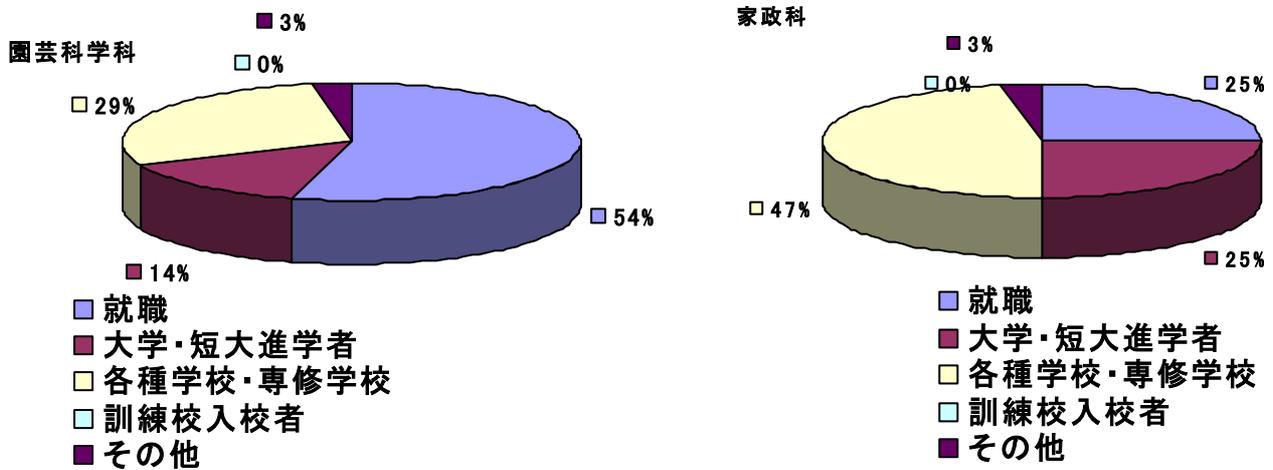
「アルバイトをすれば社会勉強になる」という考え方もできますが、『高校生活を大切にす』という意味で、精研高校では学業を最優先に考えています。

## ☆ 卒業後の進路は どのようになっていますか？

専門の学習を生かして、就職・進学をします。推薦制度を利用して4年制大学や短大への進学も可能です。

何事にも積極的に取り組み、充実した高校生活を完全燃焼しきって、自分の進路を実現してください。精研高校での専門の学習が、あなたの夢をきっとかなえてくれるはずです。そして、これから先の長い人生の中で、精研高校で学んだことが生きてくると思います。

### <卒業後の進路>



### <最近の主な進路先>

〈就職〉 公務員 流通サービス業関連（販売・接客）各種機械製造販売会社  
各種食品製造会社 紡績会社 縫製会社 理美容院 病院保健福祉関係  
その他

〈進学〉 広島大 岡山大 高知大 愛媛大 東京農大 島根大 鳥取大 福  
岡大 ノートルダム清心女子大 吉備国際大 甲南女子大 鳥取環境大  
徳島文理大 大手前大 九州東海大 崇城大 徳山大 日本福祉大 関西  
福祉大 くらしき作陽大 光華大 大阪経済法科大 南九州大 大谷女子  
大 美作女子大 神戸女子大 広島文教女子大 就実女子大 山陽学園大  
岡山商科大 その他大学

岡山県立短 倉敷市立短大 福山市立女子短 就実短 山陽学園短 中国  
短 順正短 岡山女子短 美作女子短 作陽短 大阪成蹊短 大阪城南女  
子短 夙川学院短 広島文教短 比治山短 徳島文理短 香川短 鳥取女  
子短 川崎医療短 その他短大  
看護 歯科衛生 介護・社会福祉 栄養・調理 和洋裁 デザイン コン  
ピュータ等各種専門学校 農業大学校 職業能力開発短大 その他

## 意見発表岡山県大会に参加して

山田 博久(里庄中出身)

私は意見発表の県大会に出場しました。前日から緊張で胃に痛みがでるほどでした。練習の時には1人の練習が続きました。覚えて言わなければならないので何度も読み返してみたり時間を合わせるために文を読む早さを調節したり、口を動かす練習をしたりしました。本番では手足が震えていました。発表者の控え室には緊張した空気が漂っており、他校の生徒は、すごく真剣な顔して原稿を見ていました。この大会は区分A、B、Cと別れており私はAでした。しかも発表区分Aの発表会場は大きなホールで行われるのです。私は、ガチガチでした。このような中で本番直前には緊張がピークを迎えました。しかもトップバッターです。名前を呼ばれた時には、もういくしかないと思ってステージに出ていきました。結果は4位まあまあの成績でした。来年は、もっと頑張りたいと思います。



## 「花と音のハーモニー」～人に愛されるヒーラーをめざして～

森川美紀(高屋中出身)

みなさん! 「ヒーリング」という言葉を知っていますか? 実は、私は高校入学まで知りませんでした。花が好きで、もっと花のことを知りたくて入学した農業高校。農業基礎で勉強した農業の役割の中で「花」の役割の話を聞いて強いインパクトを受けました。そうなんです。農業高校では花を育てるだけでなく、花をどんな形で活用できるかを勉強するんです。そんな話を聞いているとワクワクしてきました。

しかし、中学3年生の時そんなにすんなりと進路を決めたわけではありません。進路をはっきりと決めるとき、家政科にするのか、園芸科学科にするのか、とても悩みました。園芸科学科には女子が少ないので、人と話したりするのが苦手な私が、そんな中でうまくやっていけるかとても不安だったのです。ですが、母の「自分がやりたくないことをやっても楽しくないんだから、自分の好きなことをやりなさい。」の一言で背中を押されて一歩を歩み始めました。そして、今は毎日が充実しています。

入学して感動したことがあります。それは、専門学校の講習会に参加して、自分で生まれて初めて作ったフラワーアレンジメントです。何にもわからない私が先生のいうとおりに作業を続けてできたアレンジメン



ト。私にもこんなきれいで感動的な作品ができるなんて信じられませんでした。自分自身、このアレンジを作るとき心なごむものを感じて満足感を得ました。まさしく「ヒーリング」を感じた時でした。

私がもう一つ好きなものが音楽です。音楽を聴くことも好きですが、自分で演奏することも大好きです。楽器を演奏していると、とても「やすらぎ」を感じます。一生懸命練習をして、難しい曲が吹けるようになると、充実感を味わえ、とてもうれしいです。楽器との出会いは、小学校に入学する前でした。私は、その頃からピアノを習い始め、何度も何度もピアノを弾いて練習して難しい曲が上手に弾けた時に音楽の楽しさを知りました。

今、関心を持って聴く歌があります。それは、沖縄の楽器、三線のやさしい、ゆるやかな音の流れ、沖縄の緑と海を感じさせる「島歌」という曲です。三線のやさしい、ゆるやかな音の流れは目を閉じていると、心に響く何かを与えてくれると感じるのは私だけではないと思います。まさに「ヒーリング」なのです。

専門学校のデモンストレーションで見た「花と音楽のコラボレーション」はまさしく私がみんなと一緒に味わいたい「花と音のハーモニー」なんです。

花の苗が栄養をもらい、ある時期が来るとグングンのびるように、今、私は学校で学ぶことすべてが新鮮です。そのエキスを吸収して私自身、精神的にすごく成長しているように思えます。

今では、はっきり言えます。「精研高校に入学できてよかった」と。井原に生まれ、井原に育てられ、いま、高校で興味を持ったことを学ぶことができます。

先日、高校で学ぶ内容の説明を受けました。そのなかで、地元にはボランティアでフラワーアレンジメントを教えて下さる方もいること、また、ボランティアで市の発展に貢献する童謡作家の先生もいると聞きました。地元では、お互い助け合い、いろんな行事が行われ、人間のハーモニーが奏でられています。私も井原市市制50周年記念として、ライオンズクラブの要請により、ワイン樽を使ったガーデニングモニュメントを送るイベントにも参加でき、充実感を味わいました。色とりどりの花を植え、市役所を訪れる人の目を和ませてくれるもので、季節ごとに旬の花を飾ろうと話し合いました。モニュメントは新しい市役所の入り口に飾られますが、「人が通ると井原の子守歌が流れるようにならないだろうか」と提案しました。

花には花としての役目ではなく心に何かを与えてくれる。花は花としての魅力だけでなく、音楽とのコラボレーションによりアレンジメントを作る人に響く、また、その花を見た人に「ヒーリング」の効果をもたらしてくれるのではないかと考えています。

花がもっと生きて、輝く力を持つようになる息吹を吹き入れるアレンジメント、花を眺めながら心地よい音楽を聴いてもらう。これが私の理想です。

「ヒーリング」の必要な人に「ああ、よかった」「心が安らいだ」「また、こんな機会に出会いたい」と言ってもらえる、人に愛される「ヒーラー」になれるようにがんばります。



## プロジェクト発表県大会(区分C)に参加して

末富 敬太(笠岡東中出身)



プロジェクト発表のタイトルは、『精研Pプロジェクト』。メンバーの決まった3月当初は、5人はあまり意欲的ではなかったと思います。最初に活動計画を立てるのですが、春休みから夏休みが終わるまで予定がびっしりと詰まっており、大変な課題研究のテーマを選んだなど後悔したこともありました。しかし、覚悟を決めて『やりとげよう』と心に決めてからは素直に活動に取り組めたと思います。実際に5人のメンバーは、課題研究のために春休み、夏休みの活動を休むことはありませんでした。僕たちのモットーは『段取りよく手早くやろう』

で、テキパキと協力して頑張ってきました。ある時先生が、『このペチュニアに名前をつけよう』と言われ、決まったのが黄色のペチュニアに黒い筋の入る個性的なペチュニアに『勝ちたいんや』というネーミング、ちょうど5月頃であの阪神タイガースが勝ち星を重ねていた頃で阪神タイガースの優勝祈願をして考え出したものです。芳田校長先生が大ファンということでプレゼントしようという発想で名前をつけたのです。面白がって付けたものですが、これが阪神優勝ムードとうまいこと合わさって、『精研Pプロジェクト』をととても楽しいものにしてくれました。このプロジェクトのことは、阪神が優勝するたびに思い出することでしょう。



さて、9月になると僕たちの取り組みを10分以内にまとめる作業に取り掛かりました。盛り沢山の内容を短い時間でわかりやすく伝えられるかが大きな課題で何度も原稿を書き換えては声に出して読む作業は結構大変で、時に声が出なくなることもありました。何度も練習をしていると集中力がなくなることもあり、『発表者が頑張ったらいいやん』という声が上がったこともありましたが、『5人で取り組んできたことだから5人で発表することに意味があるんだ』という先生の一喝に気を引き締めて頑張りました。その甲斐あってよい成績を残すこ

とができました。

ウォーターボーイの映画ではないですが、何かを『やりとげ』という思い出を作ることができました。指導して下さった先生方、応援してくれた友達、そして一緒に取り組んでくれたメンバーに深く感謝しています。



## 全国大会クラブ員代表者会議に参加して

大山 裕司(芳井中出身)

私は、平成15年10月8日から秋田県で開催された、第54回日本学校農業クラブ全国大会に参加しました。私が参加したのはクラブ員代表者会議です。私にとって初めての全国大会だったので、学校代表としてきちんと成し遂げられるのか心配でたまりませんでした。

大会初日、開催場所である秋田県立大曲農業高等学校に向かってバスで移動しました。到着後、ドキドキしながら校内に入り、開会式会場へと向かいました。会場には予想を超える人の数に「大丈夫なのか」と少し不安な気持ちになりました。

まず、会議の最初に名刺交換が行われました。次に会場の重苦しい空気を変えるためにフルーツバスケットをしました。椅子に座れなかった人がクイズをするのですが、そんな時は最初の雰囲気とは違い、和やかな空気変わったように思えました。

続いて本題のテーマについて事例発表です。私はグループの班長でしたので意見をまとめて発表することになりました。グループの人に助け船を出してもらい大役を果たしました。もっと「話し合いをまとめる力をつけなければ」と思いました。

翌日は大会式典でした。全ての競技や会議の参加者が集まると、何千という人数になり圧倒されました。そして大会式典が始まり、意見発表とプロジェクト発表の模範発表を聴くことが出来ました。さすがに最優秀賞を受賞した発表だけあってどの発表も素晴らしく、言葉では言い表せないほどの感動を味わいました。全国レベルとは想像を絶するものだと実感しました。

## 測量競技に参加して

森下 洋(井原中出身)

僕は7月30日に高梁で行われた測量競技の平板測量の部に参加した。僕たちのチームや先輩のチームもこの日の大会で結果を出すために休みの日を返上してたくさん練習してきた。そしてついに競技が始まった。僕たちのチームは第1回目に行くグループで僕も測量の選手だったのでそれなりに緊張していた。だが競技が始まり、測量し始めると次第に緊張がほぐれていき、なんとかうまく1次作業と2次作業を終えた。それから次に場所を変えて体育館のような建物の中に入って3次作業を行った。これは1次作業と2次作業がうまくいかなければうまくいかない作業だ。これも何とかできて結果が20数組中、7位か8位くらいだった。僕は去年よりも結果がよかったのでこれをばねにして次の大会も頑張ろうと思った。



## 被服デザインコースで学んで

～ 3年間学んできたことの集大成の場、ファッションショー ～

中本 典子（美星中学校出身）

「ファッションについて学びたい」この気持ち一つで私は精研高校に入学しました。

2年から始まるコース別学習で、私はもちろん被服デザインコースを選びました。1年の時にも被服の授業はありましたが、コースの授業は1年の時よりとても充実していました。毎年行われてきた検定ではしっかり勉強をし、実技の実力も上げていき、全て1回で合格していくことができました。3年の最後の洋裁1級の検定で、私は今まで身に付けてきた全ての力を出し切ることができ見事96点以上を取り、表彰されることになりました。今までやってきたことが形になって残りとても嬉しかったです。

被服デザインコースでは検定用の服作りばかりではなく、本当に色々な物を作りました。特に私が力を入れたのは、自由製作の服とウエディングドレスです。自由製作では、自分がデザインし、そして製図から裁断・製作まで全て一人でやりました。卒業するまでに、全部で5着ほど作りたと思っています。ウエディングドレスは、わたしは1年の頃からデザインを考え、それを今、現実に物にしていています。やはり作る物が大きいのでとてもたくさんの時間を費やしました。少しずつ少しずつしか進みませんが、ゴールが近づいてくるところがとても弾んできます。

そして、3年間学んできたことの集大成の場。ファッションショー。きっと最後には涙が止まらなくなっていると思います。高校生活での思い出。被服デザインコースで学んできた事の思い出。すべてがショーに詰まっています。

最後の目標は、今まで先輩が作ってきたショーよりすばらしい物を作ってみせることです。私のライバルは、尊敬できる先輩方です。



～ 被服デザイン教養コースでの思い出 ～

藤代 真未（井原中学校出身）

私は被服デザイン（教養）コースで学んできました。被服デザインコースは自分でデザインしたり本を見たりして服や小物を作り、それを発表するためにオープンスクールや学

習発表会でファッションショーをします。実技が主で、作品提出には期限があるし不器用な私にはとても大変なコースでした。でも、パターンが上手く描けて誉められたときや和服2級の検定で甚平を作って、手縫いがうまくいっていると言われたときはとても嬉しくなりました。私が被服デザインコースを選んだのは、最初は母やいとこが服を作っているのを見て「自分もやってみたい」と思ったのがきっかけでした。選択してみると、コースのメンバーは面白くて楽しい人ばかりで、先生は頼りになります。まだまだ分からないことだらけだけど服も作れるようになり、やっぱりこのコースを選んでよかったと思いました。

そして私は被服コースであり、もう一つ教養コースもあります。被服デザインコースで教養をとっているのはなんと私だけで、最初一人だけだと知った時にはどうしようかと思いました。「被服の方はついていけるのかなあ」とか心配してみたり、少しだけ心細かったです。実際今心配した通り、他の被服デザインコースの人より作業は遅いし、経験は少ないしと大変です。でも最初から進学はしようと思っていたし、得意ではないにしても英語や国語を多く勉強しておくのも大事なことだと思って教養コースに入ることを決めました。勉強は大変だけどやっておいてよかったと思います。

この二つのコースで学んで、得たものが沢山ありました。あとは一月の学習発表会です。それまでに着て出る服やウェディングドレスを完成させたり、舞台の構成をみんなで考えたりと大変で忙しくなってくると思いますが、3年間の結果が出し切れるように、残りの時間出来るだけ頑張りたいと思います。



## 食物コースで学んで

～ パティシエになる夢を持つことが出来た ～

松岡 聡子（総社西中学校出身）

私は入学したときから、早く2年生になりたい、そして食物コースに入って料理やお菓子のことを沢山勉強したいと思っていました。でも、1年生では2年生からの専門コースで学ぶための基礎をしっかりと身に付けることができました。

そして、いよいよ2年生からの専門コースでは本当に沢山のことを勉強しました。その中でも一番大変だったのは食物検定受験に向けての勉強でした。特に筆記試験の勉強が山程あり、覚えるのに必死でした。でも、その検定で合格したときには、とても嬉しかったです。

また、専門コースには、沢山の實習もありました。日本料理、西洋料理、中国料理、東南

アジア料理など様々な国の料理に挑戦しました。時には、想像していたものと少し違った料理になることもありましたが、その失敗からも教訓を学び、成長して行くことができました。今では、入学したばかりの頃には想像もしなかった程の沢山の料理がつ作れるようになりました。

私は、このコースで学んでいる間に、いつの間にかお菓子作りが大好きになっていました。家でもよくお菓子を作るようになり、将来は絶対パティシエになりたいという夢を持つことができました。

食物コースでは、実際に料理や製菓の分野で働いておられる先生方から、直接指導を受け、学ぶ機会もありました。本当にそのような先生方の技術にはビックリさせられましたが、少しでも吸収したいと思い一生懸命に習いました。また、一番最後にあったテーブルコーディネートでの外部講師授業では、料理をおいしく食べるためには、食空間をふさわしく演出することの大切さを学びました。

この3年間で本当に沢山のことを学びましたが、やっぱり食物コースを学んで良かったと思います。



～ 作ることの楽しさ、食べることの喜び、人と人とのふれあい ～

刈谷 美起（芳井中学校出身）

私は食物コースとして、様々な事を学びました。決して料理は得意ではないけど、3年間学んだことは将来の自分のためになったと思います。食物コースで学んで良かったと思える3年間で、とても良い思い出になりました。

特に私は、外部講師授業やテレビ会議授業が印象的でした。外部講師授業は普段見ることの出来ない先生の技術が見れたり、自分の家で作らない様なものも作れ、貴重な体験が出来ます。また、先生が目の前で教えてくださったりと自分にとって大変勉強になりました。和洋中などいろいろな料理も学ぶことが出来ました。テレビ会議では、他校の先生に教えていただき、これもとても貴重な体験が出来ました。テレビ会議を通しての授業は、初めはどんなものなのか緊張したりもしましたが、だんだん慣れてくると、すごく楽しい授業になり、印象に残っています。

食物コースでは、料理を作る事はもちろんですが、作ることの楽しさ、食べることの喜び、人と人とのふれあいなど私にとって学ぶことがたくさんありました。

料理をするのが得意ではないけど、みんなと作ることで楽しく出来ました。また、招待し、

食べてもらい、一言のお礼だけでも大きな喜びを得ることが出来ました。他校の先生や外部講師授業など、外部からの先生にも教わり、人と人のふれあいで学ぶことも出来ました。私はこの3年間学んできて、大変だなと思ったことも何度かあります。でも食物コースに入って良かったと思いません。食物コースだからこそ学んだことを忘れずにこれからの生活に活かしていきたいです。



## 福祉コースで学んで

～ 利用者を尊敬する事の大切さ ～

寺岡 茜（高屋中学校出身）

私は、この3年間でとても多くの実習及び学習をしてきました。その中でも、30時間の実習は、私にとって大変だったけれど、一番基礎になりました。30時間の実習では、ベッドメイキングやブラインドウォークや車イス体験などをしました。その中で私が最もビックリしたのは、大きな袋とストッキングとバスタオルとバケツで、寝たまま洗髪出来るという事でした。アイディア次第でいろんな事ができるんだなぁと思いました。

そして、きのこ荘の実習では、直接、利用者の方とふれ合う事が出来ました。私の行ったユニットでは、痴呆はあまり進んでいなかったけれど口喧嘩がたえませんでした。私はおどおどしてどうしたら良いか分かりませんでした。職員の方はそんな様子を見て気づいてくれたのか、「大丈夫ですよ。いつもあんな調子ですから」と言ってくれました。私は、それでいいのかなぁと思いつつ見ていましたがそれぞれの生活スタイルがあるんだなぁと思いました。そして、きのこ荘の実習では利用者を尊敬する事の大切さやコミュニケーションの難しさを学びました。

もう一つ私にとって貴重な体験となったのが、同行訪問でした。実際に利用者 の家を訪問するというものです。車で何 人かの人の家を訪問しました。ある人の お宅では、数十分の中で掃除、布団干し、 散歩、食事などを行いました。一番驚いたのは食事でした。その家にある食材で調理するという大変なものでした。私は家では皿洗いくらいしかしなかったの、その時初めて危機感を感じました。この実習は私にとっては大きな実習になりました。 私は今、夢であった福祉の仕事に就



く事も決まり、期待と不安でいっぱいですが、今までしてきた実習や勉強を生かし一生懸命頑張っていきたいと思っています。今まで勉強してきた本当に良かったです。

～ 私が得たもの ～

原野 瞳（高屋中学校出身）

私が福祉コースを選択した理由・・・それは、困っている人がいても手を差し出す勇気もなく、そんな自分がとても嫌いで、本当の自分ってこんな小さい人間ではないと考えたからです。

しかし、福祉を勉強するにつれ、『福祉』と二文字には表すことが出来ない程沢山の事がある事が分かってきました。

そして、勉強だけでは理解しづらく、実習を通して学んだ事の方が多かったように感じます。一人一人違って、そ



その人その人のやり方がありそれを壊す事は出来ないし・・・。皆が協力して支え合いながら生きていく事は本当に大切な事で、視覚障害などの障害を持ちたくて持った訳じゃないし、仕方がない事だと思う人もいるかもしれないけど、どれだけ大切な存在かを一人一人が考えるべきだと思います。福祉コースで学んで人の気持ちを理解し、人に優しく接する事、友達を大切に思う気持ちの大切さを学び、誰からも信頼され、『あなたがいてくれて良かった。』そんな風に思ってもらえるような人になりたいと思いました。これから社会に出ていく私にとって本当に良い経験が出来たと思いました。

これからは、困った人を見た時には手を差し出すことが出来るし、もし自分の身近な場所で介護が必要ならば、今まで学んだことを生かして介護してあげたい・・・そう思いながら今までやってきました。

私は就職で接客業に就きます。介護の職業ではありません。多くの方と関わり、お客様一人一人を大切に思い『私がいるから・・・』そんな存在になりたいし、笑顔で包む事が出来たらいいなあと思っています。

福祉コースで学んだ事、得たものは、自分を心から変える事ができたことです。この気持ちをいつまでも忘れずにいたいと思います。

～ 子ども大好き ～

石井 れい子（矢掛中学校出身）

この2日間は、とても楽しく充実した日々が送れました。しかし朝が早く、とても大変でした。幼稚園の先生方は、毎日こんなに朝早くから仕事されているんだなぁと感じました。

1日目。私は、少し不安と期待を持ちながら、登園していました。登園途中、道で園児と会いました。私が、「おはよう」と笑顔で挨拶をすると、園児も「おはよう」と元気な挨拶を返してくれました。私は、とても嬉しくなりました。

幼稚園に到着し、各クラスに分かれ園児と一緒に掃除をしました。私は初め、園児にどう接すればいいかわからず、ただ見ていることしかできませんでした。でも思い切って1人の園児に声を掛けてみると、その園児は笑顔で反応してくれました。私は、それまでの不安だった気持ちが、とても穏やかになっていくのを感じました。これがきっかけとなり、私は積極的に園児に声を掛けるようになりました。

プール遊びでは、私は入れなかったので足までしかつかることができず、園児と一緒に遊ぶことができなくて、とても残念でした。楽しそうにプールで遊んでいる園児を見ていた時、園児の成長・発達などをとても感じました。顔を水につけ泳げとる子、水を怖がり顔をつけられない子、プールには入らずプールサイドで遊んでいる子などな園児の様子を目にしました。私は、こんなに成長・発達の差があり、ちゃんと自我があるんだなぁと思いました。

園児が何か起こしたとき、先生はみんなの前でその子を注意し、どう解決すればいいかをみんなで考えるようにしていました。園児達は一人一人ちゃんと一生懸命考え、自分の意見を頑張って発表していました。私はその様子を見て子どもたちの中にも社会のルールや決まりを十分に理解しているのだと感じさせられました。

2日目のお楽しみ会では時間がなく、私たちが考えた遊びが上手く進行できず、残念でした。しかし、プレゼントのキーホルダーを嬉しそうにもらってくれている園児の姿を見て、頑張って作って良かったと思うことができました。

この実習で、園児とたくさんふれあうことができ、いろんなことを体験していく中で、多くのことを学ぶことができた二日間だったと思います。2日間で得たものを、将来役立てることができればいいと思っています。

